2006 年度 小委員会活動成果報告

（2007 年 02 月 13 日作成）

小委員会名	防水システム性能耐久性評価試験方法小委員会	**主 査 名**：清水市郎 **就任年月**：2005 年 04 月
所属本委員会 **（所属運営委員会）**	材料施工委員会防水工事運営委員会	**委員長名**：田中享二 **主 査 名**：小野　正
設　置　期　間	2005 年 04 月　～　2009 年 03 月	
設　置　目　的 **各年度活動計画** **（箇条書き）**	・防水システムの性能耐久性評価の試験方法を確立する。 ・防水材料の屋外暴露及び促進耐候性を実施し，劣化の相関性の分析を行なう。 ・その結果を踏まえ，防水ｼｽﾃﾑの性能耐久性評価試験方法の検討を行なう。	
委員構成 **（委員名（所属））**	**委員公募の有無**：有り 清水（建材試験センター），竹本（清水建設），田中（東工大），冨板（九州大），岡本（竹中工務店），成瀬（東急建設），宮内（東工大），添田（フジタ），古賀（国総研），高根（日本ｳｪｻﾞﾘﾝｸﾞｾﾝﾀｰ），松村（北総研），大西（積水ﾊｳｽ），荒井（ﾀﾞｲﾌﾚｯｸｽ）中沢（ARK），町田（ARK），古市（TRK），岩本（KRK），中野（KRK），梅田（NUK），榎本（日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会），伊藤（日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会）	
設置 WG **（WG 名：目的）**		
2006 **年度予算**	106440 円	**ホームページ公開の有無**：無 **委員会 HP アドレス**：無

項　　目	**自己評価**
委員会開催数	５回（２００６年度内計画を含む）
刊行物 **（ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ資料等は除く）**	
講習会	
催し物 **（シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）**	１．日韓建築材料施工ｼﾞｮｲﾝﾄｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ　参加者数　約２００名 「防水材料の耐候性試験方法の検討」報告 ２．高分子学会：高分子の崩壊と安定化研究会　参加者数　約５０名 「ﾒﾝﾌﾞﾚﾝ防水材料の耐候性試験方法の検討」報告 「建築用ｼｰﾘﾝｸﾞ材の耐候性試験方法の検討」
大会研究集会	１．建築学会大会（神奈川大学）　参加者数　約１００名（防水セッション）（防水材料の耐候性その 12,13：ｼｰﾄ防水，その 14,15：ｳﾚﾀﾝ防水，その 16：FRP 防水，その 17：ｱｽﾌｧﾙﾄ防水材，その 18：改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水，その 19,20：建築用ｼｰﾘﾝｸﾞ材）発表
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 **（当初の活動計画と得られた成果との関係）**	１．研究計画の通り，防水材料の屋外暴露試験体及び，促進耐候性処理後試験体の物性ﾃﾞｰﾀ解析を行い同時に，評価手法の検討を行なった。 ２．高分子学会及び日韓ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑに「防水材料の耐候性試験方法の検討」を報告。 ４．建築学会大会（神奈川大学）に９編の論文を発表。
委員会活動の問題点・課題	１．促進耐候性及び屋外暴露処理後の試験体の劣化性状の物性分析作業を進め，評価手法の確立を行なう。更に，現場ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞを計画し，その物性評価の結果を踏まえ，評価手法の検証を進める。

＊小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。